



# 探究心を常に心の中に



- ① 寺田教授作成の津波発生装置を使って、津波の種類や進み方を観察する児童
- ② ダンゴムシの動きについて丹沢教授の説明に耳を傾ける児童
- ③ 自分たちで捕まえてきたダンゴムシを観察
- ④ 迷路に入れたダンゴムシが直線や曲り角などでどのように動かすか実験
- ⑤ ペットボトルにサンゴや砂を入れて、液状化再現器具を作成
- ⑥ 教室を手伝う椋原高校科学部の生徒
- ⑦ 虫眼鏡でダンゴムシの体のつくりを観察
- ⑧ ペットボトルで液状化の仕組みを学ぶ



## 第9回どきどき 科学探究教室

教室①ダンゴムシはどうやって自分の進む道を決めているの  
教室②地震災害にさわってみよう～津波と地盤の液状化～

### インタビュー

教室に参加した児童に感想を聞きました。



川崎小6年 加藤深思さん

ペットボトルに砂を入れたりして地面を再現したので、地震が起きたときの液状化の仕組みがとても分かりやすかったです。理科や科学は好きなので、将来理科を活用した職業に就きたいです。



相良小4年 宮本 迅さん

ダンゴムシを捕まえて観察したり、触角を1本、2本取った場合を比べてみると、おもしろい実験ができて楽しかったです。ペットボトルは、家に帰ってから家族に見せたりして、またやってみたいです。

「地震災害にさわってみよう」をテーマに、津波が発生する仕組みを装置を使って実演。その後、児童らは実際にペットボトルに砂やサンゴ、水、地図ピンを入れて、液状化の発生を再現しました。

児童らは、目を光り輝かせながら、自然の面白さや不思議について、楽しく学んでいました。

**岐** 卓聖徳学園大学教育学部 寺田光宏教授は、「地震災害にさわってみよう」をテーマに、津波が発生する仕組みを装置を使って実演。その後、児童らは実際にペットボトルに砂やサンゴ、水、地図ピンを入れて、液状化の発生を再現しました。

静岡大学教育学部の丹沢哲郎教授の教室では、「ダンゴムシはどうやって自分の進む道を決めているの」として、校庭でダンゴムシを捕まえて来て、触角の本数や餌、光の有無などの状況下で迷路の中をどのように動かすかを観察し、ダンゴムシの動きの法則などについて学びました。

**第9** 回どきどき科学探究教室が7月27日、相良小学校で開かれました。財団法人山崎自然科学教育振興会が、子どもたちに理科や科学の楽しさを感じてもらおうように毎年開いているもの。同教室には市内の小学生約50人が参加し、2人の講師から自然科学の2つのテーマについて学びました。